



FX業者を知る

基礎学習講座



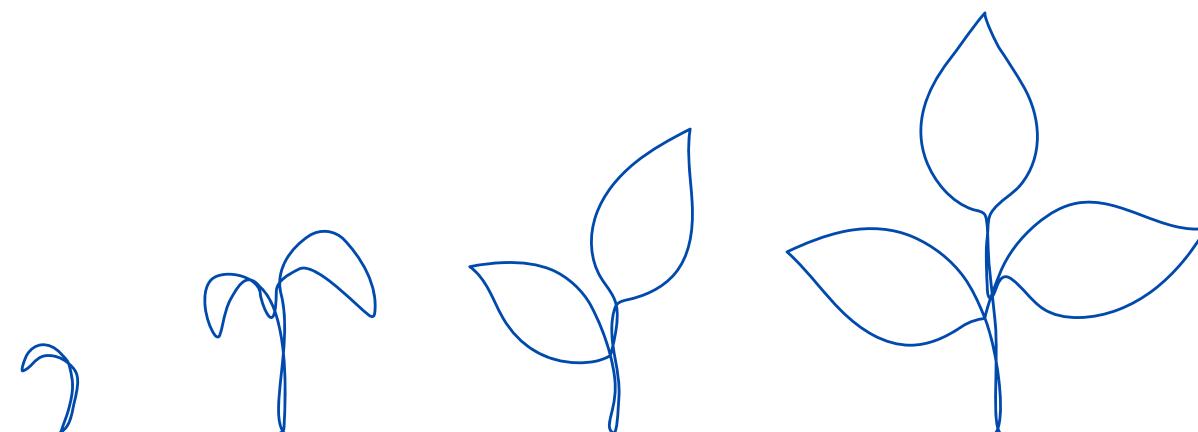


FX業者とは？

FXを行う際に、取引のプラットフォームを提供し、仲介を行う会社のことです

銀行の外国為替取引部門が提供するサービスもFX業者の一種ですが

一般的にはFX専門の会社を指すことが多いです





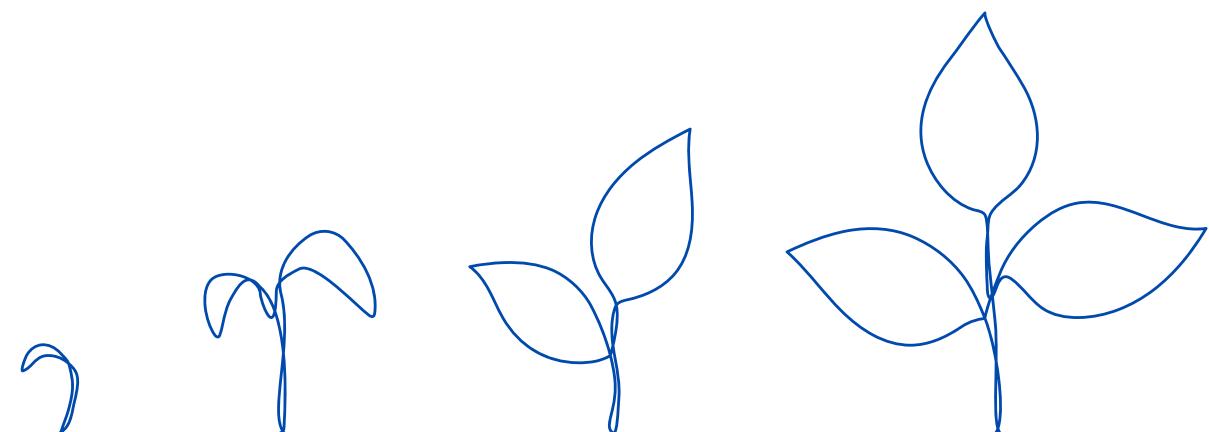
FX業者の役割

取引プラットフォームの提供:

チャート分析、注文執行、決済など、FX取引に必要な機能を備えた
プラットフォームを提供します

取引の仲介:

顧客の売買注文を執行し、市場に注文を流します





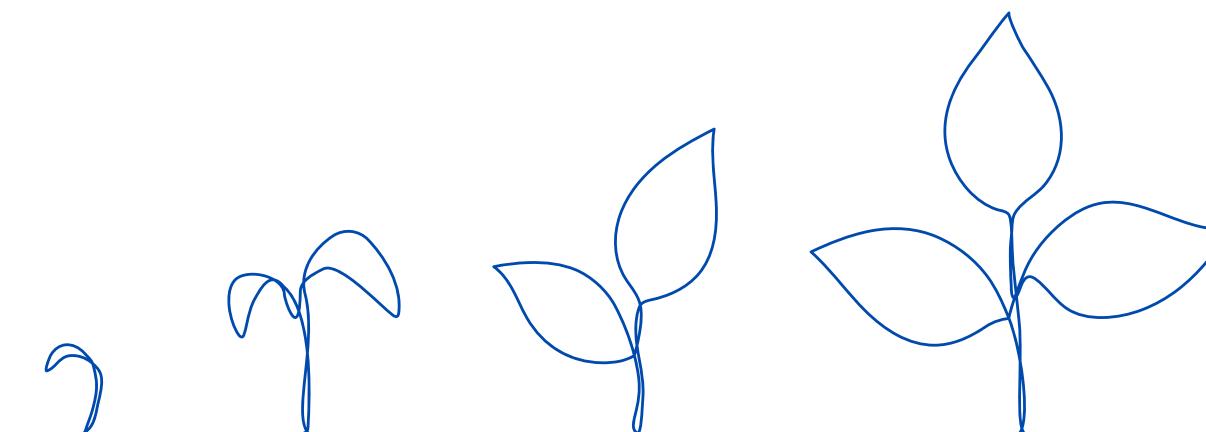
FX業者の役割

資金の管理:

顧客の証拠金や利益を管理します

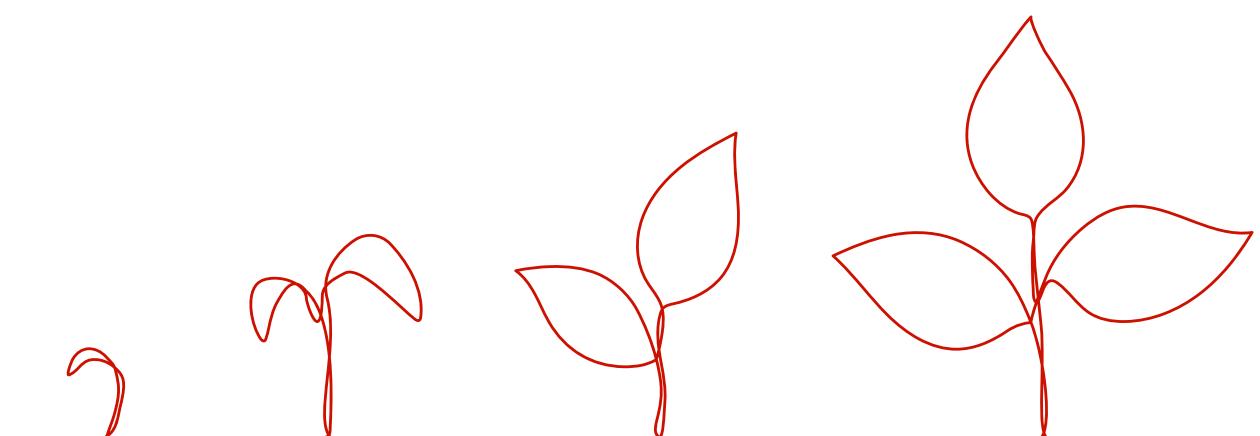
情報提供:

為替相場に関する情報や、取引ツールの使い方などを提供します





FX業者の選び方





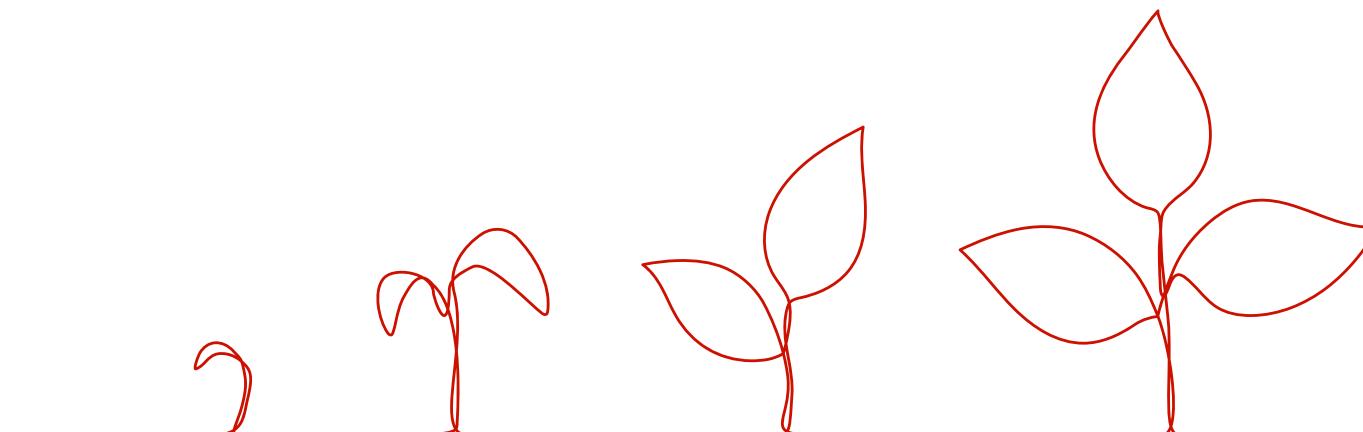
規制(信頼できる会社か?)

まず確認すべきは、「金融庁に登録されているかどうか」です。

日本国内で運営しているFX会社は、金融庁の規制のもとで運営されています。

これにより、資金管理や情報の安全性などがしっかりと守られています。

✓ 金融庁の登録番号があるか確認しましょう。



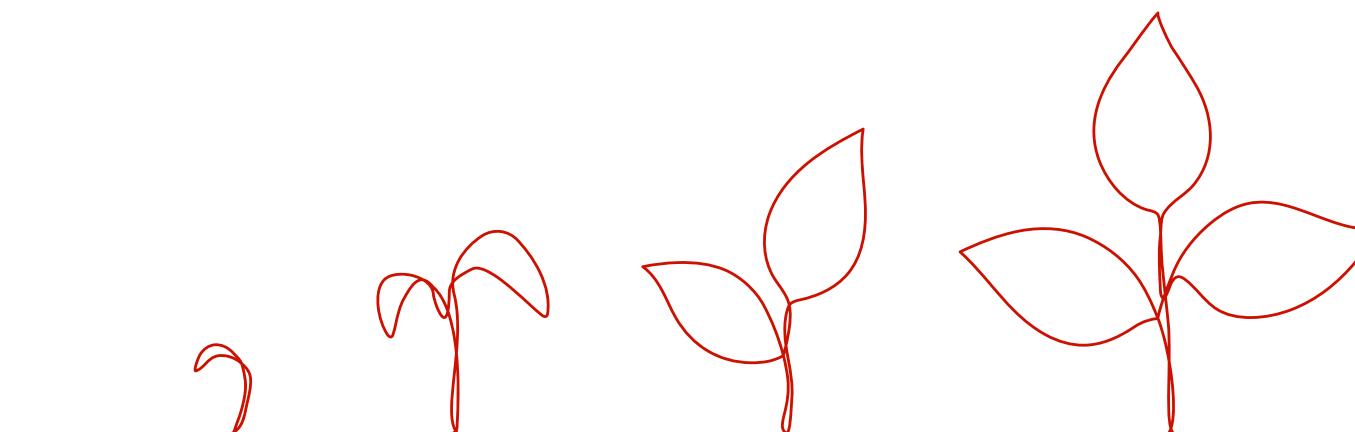


スプレッド(実質的なコスト)

スプレッドとは、買値と売値の差のこと。

この差が小さいほど、取引コストが安く済みます。初心者には「ドル円で0.2銭」など、
スプレッドが狭い業者がおすすめです。

✓ スプレッドは「狭さ」と「安定性」が重要です。





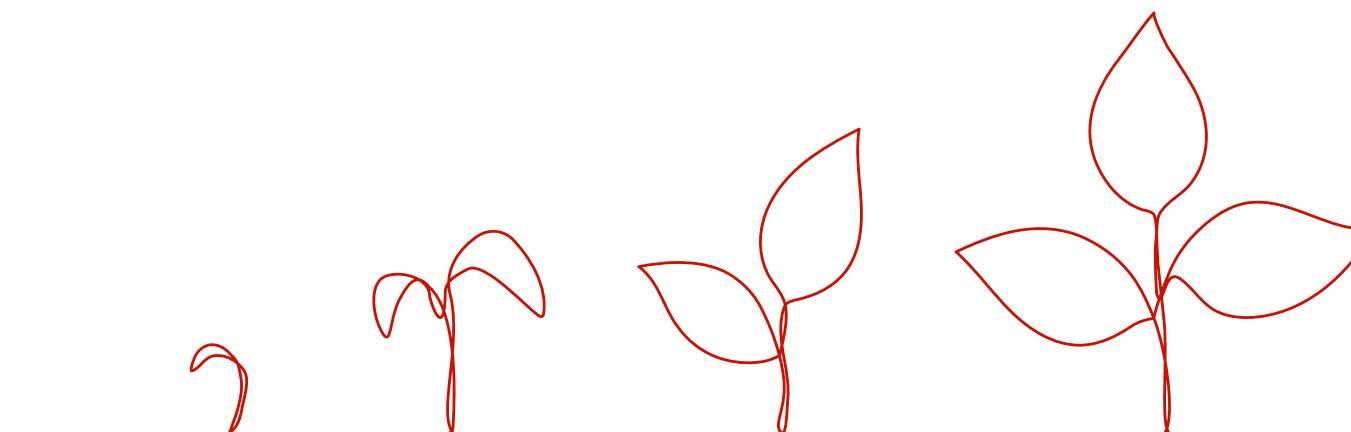
レバレッジ(リスク管理の力)

レバレッジとは、少ない資金で大きな取引ができる仕組みです。

日本では最大25倍まで認められていますが、

初心者はまず低め(5~10倍)からスタートするのが安全です。

✓ 高すぎるレバレッジはハイリスク。まずは低リスクで練習を。





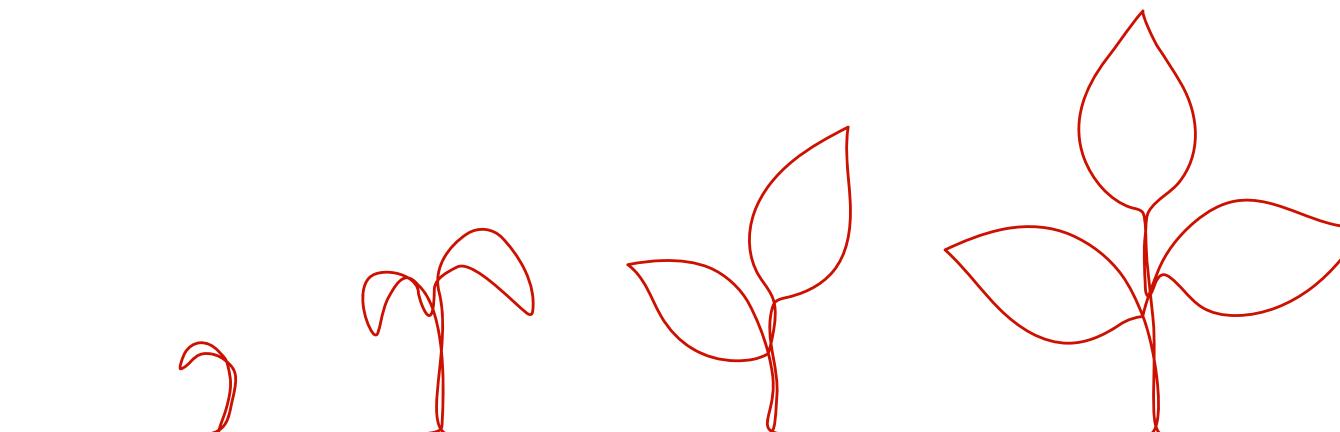
取引ツール(使いやすさが重要)

FX会社ごとに、チャートや取引画面の使いやすさが異なります。

初心者でも見やすく、注文も簡単に出来るツールを選びましょう。

スマホアプリが充実しているかも要チェックです。

✓ デモ口座で実際に使ってみるのがオススメ!



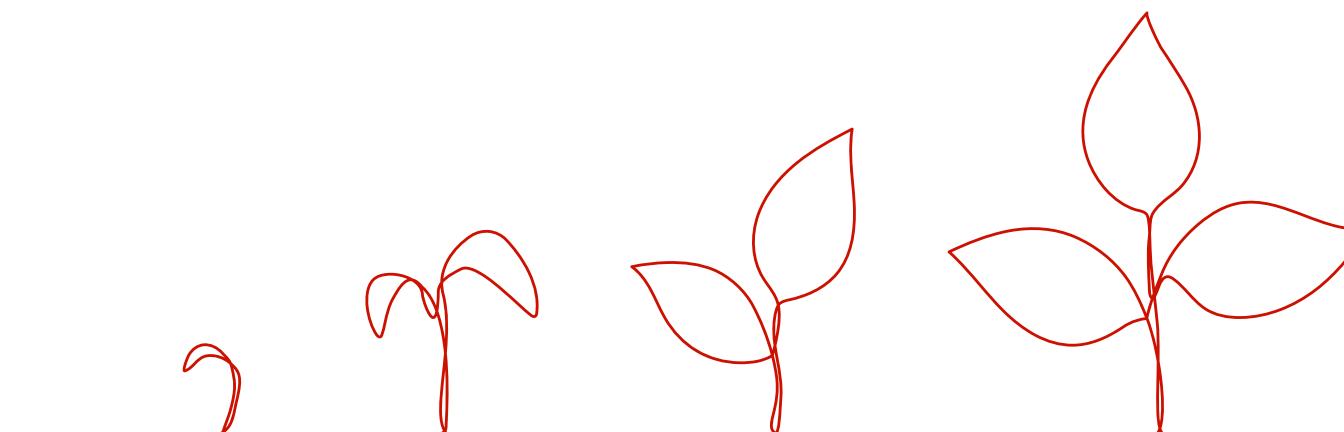


手数料(見落としがちなコスト)

スプレッドの他に、入出金手数料・口座維持手数料などかかる業者もあります。

すべてのコストを確認して、無駄な出費を抑えられる業者を選びましょう。

✓ 「無料」でも、別の形で費用が発生していないかチェック!



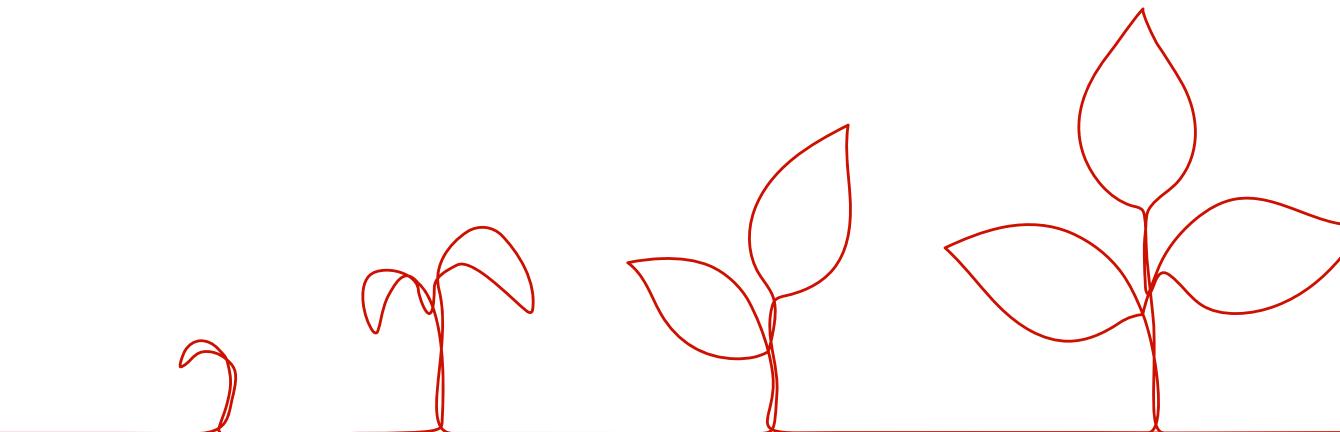


サポート体制(困ったときに安心)

分からないことが出てきたときに、しっかり対応してくれるかも大事なポイントです。

電話やチャットサポートがあるか、日本語で対応してくれるかなども確認しておきましょう。

 営業時間・対応の丁寧さも比較してみましょう。

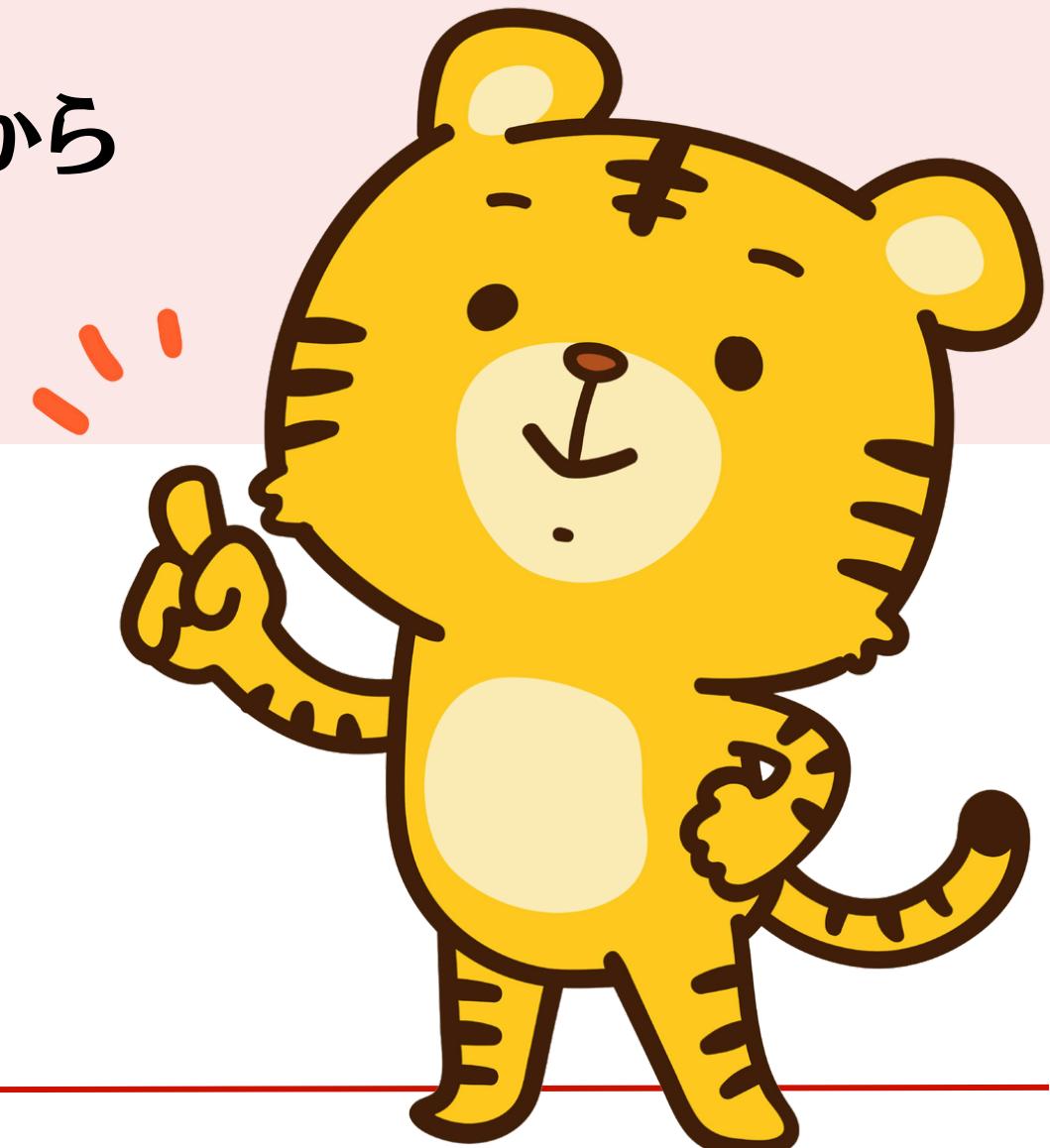
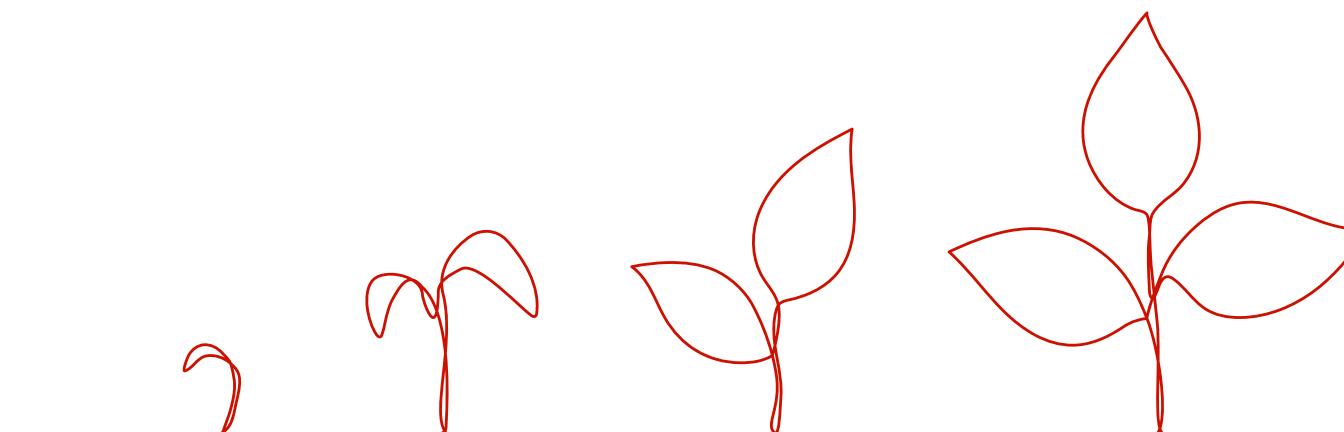




まとめ

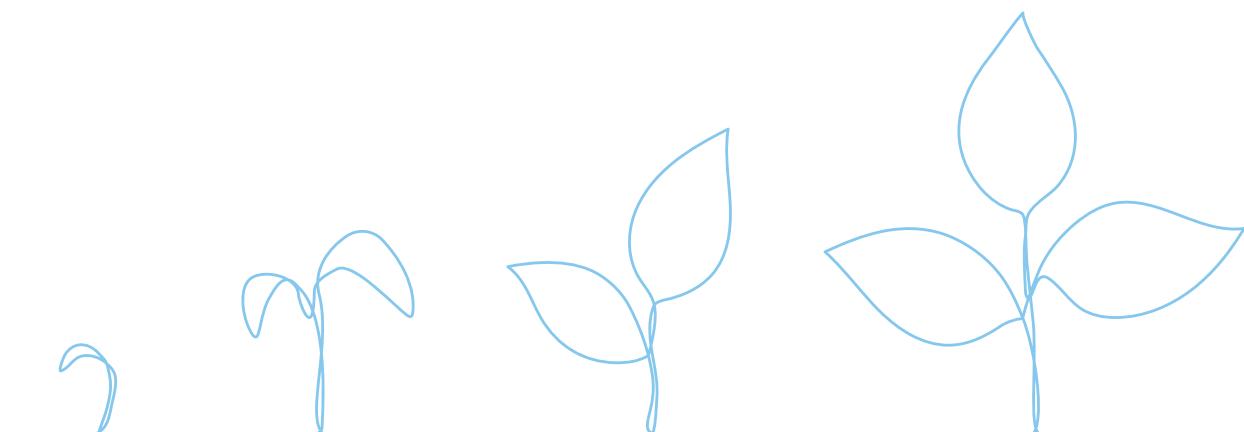
FX業者選びは、「取引の土台」です。

信頼性、安全性、使いやすさ、コスト面をしっかり比べて、自分に合った業者を選びましょう。迷ったら、まずは大手の国内業者でデモ取引から始めるのも一つの方法です。





国内と海外を比較





国内

日本の金融庁に登録して
日本の金融ライセンスを
取得している業者



金融
ライセンス

海外

海外に本社を構えているので
日本の金融庁のライセンスを
取得していない

*多くの業者は各国の金融ライセンスを取得済み



安全性

国内

金融庁による認可や 厳重な顧客資産の管理を義務付けられているため、 万が一、 業者が倒産しても 顧客資産は保護されているので安全性は高い



安全性

海外

金融庁による認可がなく、顧客資産の分別管理義務がないため、 必ずしも顧客資産が保護されるとは限りません。管理体制なども含めて業者によって安全性が変わる



追加証拠金

国内

含み損が口座残高を上回った時、ポジションが強制的に決済されてもお金が足りない場合は、FX業者から借金を抱えるため返済しなければなりません



追加 証拠金

海外

「ゼロカットシステム」を導入している業者が多いため、追証が発生することはほぼありません



国内

金融庁の規制により、個人の場合、最大で25倍までの取引が可能です



レバ
レッジ

海外

金融庁の許可に関わらず運営できるため、制限なしでレバレッジを提供できている数百～数千倍で提供している業者が多く存在します



入出金

国内

国内金融機関との連携により、振込での入出金が主流となっています。手数料は無料かわずかな料金で利用できる場合が多く、すぐに反映されるのが特徴



入出金

海外

入出金方法が多く、取引・入出金に関するルールや禁止事項がわかりにくいといえます。手数料や口座への反映時間もそれぞれ違います



国内

- ・申告分離課税：
一律20.315%
- ・過去3年分の損失の繰越
が可能



税金

海外

- ・総合課税：
累進課税で5～45% (所得が高
くなるほど税率の上がる) +
住民税10%
- ・損失の繰越はできない



注文方式(パート1)

国内

DD方式：
国内業者の多くが採用しているのがDD方式です
この方式では、業者が投資家の注文を仲介し、価格を提示します



注文 方式 パート1

海外

NDD方式：
投資家の注文が直接インバウンド市場に流れます
業者が介入しないため、透明性が高く、公正な取引が可能です



注文方式(パート2)

国内

DD方式：
業者がカバー取引を行うため、価格操作の可能性があるというデメリットもありますが、スプレッドが狭いというメリットがあります



注文 方式 パート2

海外

NDD方式：
FX業者の収益源がスプレッドになるため、スプレッドはやや広くなることがあります
特に海外業者はNDD方式を採用していることが多い



国内

スプレッドが狭いことが特徴です
取引コストを抑えたい方は魅力的です



スプレッド

海外

海外業者はスプレッドが広めです。NDD方式を採用している場合、透明性の高いスプレッドであるため、隠れたコストが発生しにくいというメリットもあります



ロスカット(パート1)

国内

証拠金維持率が50%～100%を下回ると、自動的にポジションが強制決済される「ロスカット」が発動します



ロスカット パート1

海外

ロスカット水準がより低く設定されていることが多いです
20%～30%



ロスカット(パート2)

国内

これにより、大きな損失を防ぐ仕組みになっていますが、相場の急激な変動によってロスカットが間に合わないケースもあります



ロスカット パート2

海外

これにより、多少の相場の変動では強制決済されないため、長期的なポジションを持ちたい方に向いています



取引ツール

国内

日本語に対応した独自の取引ツールを提供しており、初心者でも操作しやすいインターフェースが特徴



取引ツール

海外

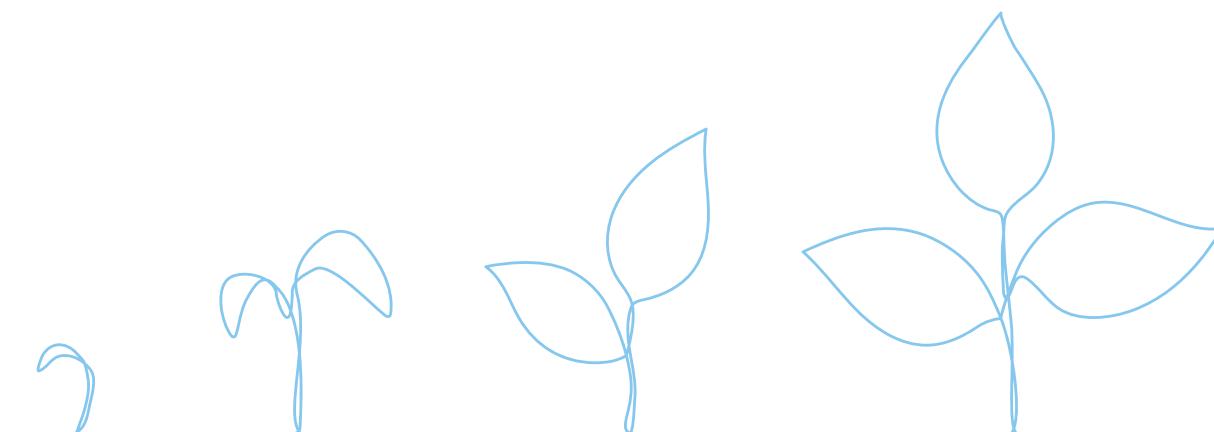
高機能な取引ツール「MetaTrader (MT4・MT5)」が主流です
自動売買や高度な分析機能を搭載できます



国内・海外おすすめの人

国内FX業者：

- ・大きな資金で取引を行う人
- ・税金の高さが気になる人
- ・海外の業者にとても不安がある人

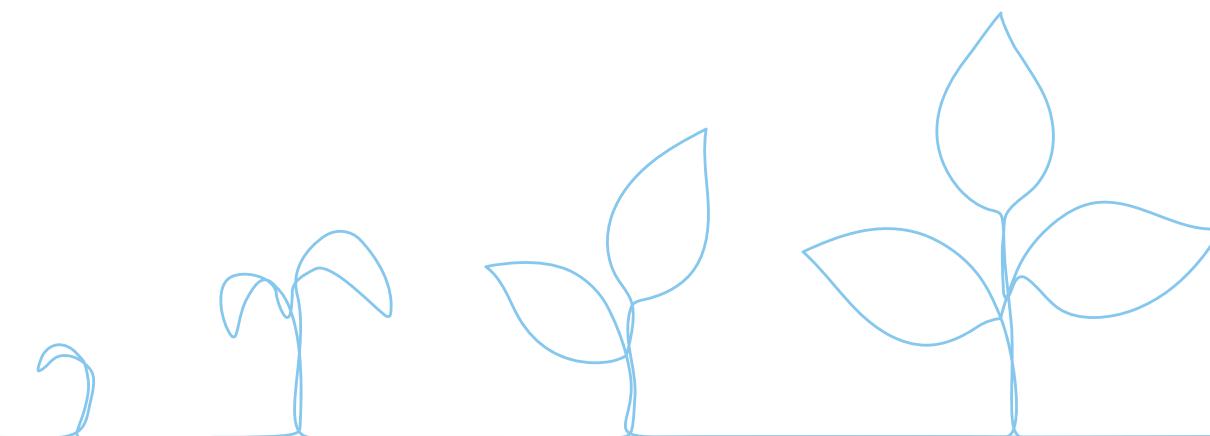




国内・海外おすすめの人

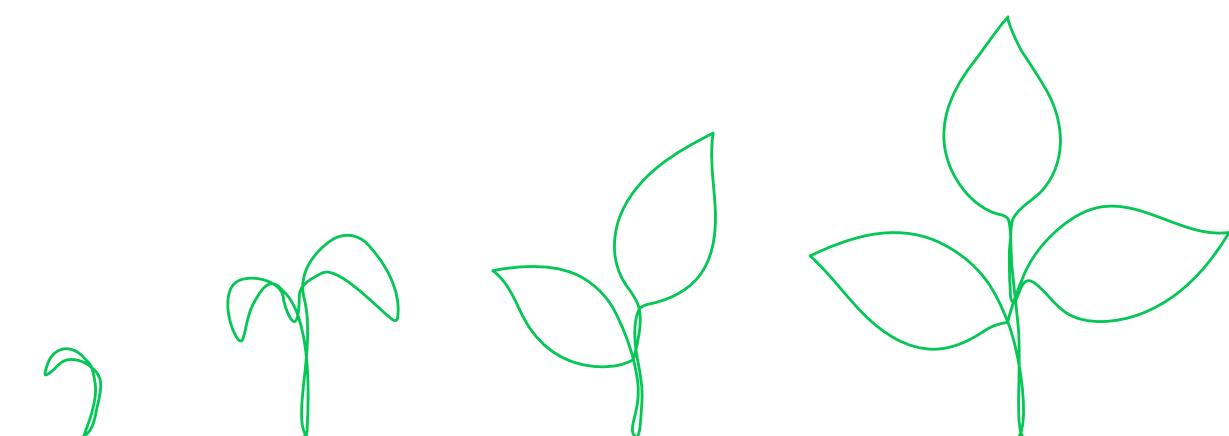
海外FX業者：

- ・少額の資金で始めたい人
- ・効率的に多くの利益を稼ぎたい人
- ・ボーナスを活用したい人
- ・自己責任ができる人





まとめ





まとめ

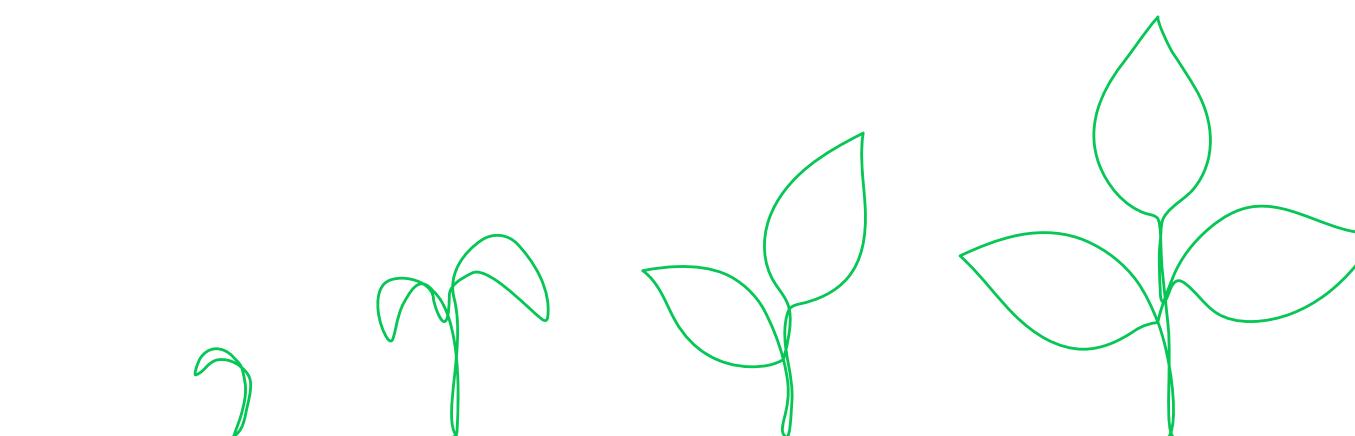
国内業者と海外業者にはそれぞれメリットとデメリットがあります

国内業者は安全性が高く、初心者に優しい一方で、

海外業者は高レバレッジや追証なしといった大きな魅力があります

どちらを選ぶにしても、リスクをしっかりと理解し、

自分に合った業者を選ぶことが重要です



プロトレーダーを目指す者が本気で磨ける場所



知識は力に! 検証は武器に! 学びを仕組みに! 勝ちを習慣に!